

利賀の水音

vol.31

2018.9
発 刊

H30.6.21 庄川橋梁上部工事／左岸下流より撮影

利賀ダム工事事務所 安全対策協議会

目 次

1. はじめに
2. 安全対策協議会の活動
3. 平成29年度完成優良工事等表彰式
4. 工事だよりー平成30年度ー
5. 地域活性化・担い手育成
 - (1)利賀ダム見学イベント2018
 - (2)担い手育成のための現場見学会
6. あとがき

1.はじめに

8月の利賀は、深緑の深まりに、利賀大橋の朱色アーチが映え、とても美しい景観になっています。

今年は、7月の大阪北部地震や西日本豪雨災害、9月の台風21号や北海道胆振東部地震など、大規模災害が全国で頻繁に発生しています。7月の豪雨では庄川で観測史上2番目の水位を記録しました。

また、豪雨災害の後には気温35度以上の猛暑が続いており、被災地の状況等が連日報道されています。被害に遭われた方には、心よりお見舞いを申し上げます。

さて、利賀ダム建設のための工事用道路として整備を進めてまいりました1工区（南砺市利賀村栃原～長崎間（L＝700m））については、皆様方のご協力により、10月14日に、一部区間が供用される予定です。8月4日（土）には、利賀大橋をメイン会場として、利賀村育成会51名と地区連絡会38名の方にご参加頂き、プレイベントを開催し大成功に終えることができました。改めて感謝申し上げます。

一方、今年度の利賀ダム安全対策協議会の各工事現場は、7月末まで無事故・無災害となっています。今年度は、新たな取り組みとして、業務委託受注者を本協議会会員として参画し、利賀ダム事業に関わる全ての受注者と発注者が一体となって安全管理を行い、改めて「事故を起こさない」決意を誓うとともに、ダム建設事業を推進していく中で、地域の安全と発展・自然環境の保全に寄与し、地域への貢献に努めて参ります。

引き続き地域の皆様及び関係各位のご理解・ご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。

利賀ダム安全対策協議会会長 山田 幸男

2.安全対策協議会の活動 (1) 総会

平成30年度利賀ダム工事事務所安全対策協議会の総会は、6月4日（月）に利賀ダム工事事務所で開催されました。

総会では、今年度の新たな取り組みとして、業務委託受注者を本協議会参画を提案した他、新役員（案）及び平成29年度の活動報告や平成30年度の活動計画（案）が報告されました。

平成29年度の活動報告では、年6回の安全パトロール、労働基準監督署及び警察署との合同安全パトロール、ダム見学イベントへの協賛、建設労働災害防止大会、安全施工研究発表会の実施が報告されました。平成30年度の活動計画では、安全パトロールの実施計画、建設労働災害防止週間の取り組み内容、広報計画、安全・施工技術の向上への取り組み等について審議が行われた後、平成29年度活動報告及び平成30年度活動計画が承認されました。また、平成30年北陸地方整備局管内の工事事務所事故速報を紹介し、建設工事関連の事故の傾向や現状について説明が行われました。

最後に参加者全員で安全意識の統一を図り、無事故・無災害に向けて決意を新たに総会を閉会しました。



▲ 会長による開会の挨拶

平成30年度 役員

会 長	利賀ダム工事事務所長	山 田 幸 男
副 会 長	米澤工業(株)代表取締役	米 澤 秀 起
副 会 長	副所長	岡 田 茂 彦
幹 事 長	工務課長	本 田 敏 也
幹 事	(株)横河ブリッジ 中山工業(株) 米澤工業(株) 日本工営(株) 工事課長	鈴 木 俊 広 横 倉 健 二 須 河 永 喜 野 村 誠 紀 山 田 宗 明



▲ 総会中の様子



▲ 副会長による閉会の挨拶

■今年度の活動計画

1.安全パトロールの実施

安全パトロールは、月1回以上を原則として実施する。事故の発生状況や現場の危険性などを考慮して、臨時安全パトロールを実施する。特別安全パトロールとして、外部機関から安全指導者を招き合同安全パトロールを行う。

2. 総会・幹事会

年1回、総会を実施する。必要に応じて幹事会を開く。

3.建設労働災害防止大会

9月の建設労働災害防止週間に建設労働災害防止大会を開催し、安全宣言・安全重点目標を定める。また、外部講師を招き安全に関する講話をいただく。

4.広報

「あんぜん北陸」を随時配布する。広報誌「利賀の水音」を年2回発行する。現場見学会を開催する。広報ポスターを掲示する。その他、地域のイベントに随時参加する。



5.安全・施工技術の向上

- (1) 安全施工研究発表会
工事が休工となる2月に、建設技術や安全管理のモチベーションを高く維持するため、品質向上に向けた報文を募集し、発表会において優秀な報文発表者を表彰する。
- (2) 工事現場見学会
近隣事務所の先進的な工事現場を見学し、協議会会員の技術力向上を図る。

6.防犯活動

「越中守り獅子、防犯パトロール中」のステッカーを工事車両に貼り、地域の防犯活動に協力する。



■今年度の安全パトロール実施状況

6月

1 工区取付部他工事では、現道（156号線）に近接するため、保安施設・交通対策や現場の整理・整頓状況について点検しました。



◀維持修繕工事では、豆谷地区に設置されたモノレール設備や横坑用仮設足場の設置状況について点検しました。

7月



▲地質調査業務では、足場等を点検しました。命綱の設置や安全帯の装着など高所作業に対する安全対策を確認しました。



◀維持修繕工事では、延伸したモノレール設備・横坑用仮設足場及び昇降階段の設置状況について点検しました。

3. 平成29年度完成優良工事等表彰式

利賀ダム工事事務所長表彰

7月23日（月）当事務所において、平成29年度完成優良工事等表彰式が挙行されました。当事務所からは、下記の工事1件と業務委託1件の計2件が表彰されました。

この制度は、北陸地方整備局所管の工事等に関し、その施工及び成果が優秀であって、他の模範となるものを選定し表彰することにより、良質な社会資本整備を目指すとともに、建設技術の向上と事業の推進に資することを目的として行っております。



前列左側より
受賞者の(株)藤井組松井氏、
藤井氏、事務所長、
日本工営(株)野村氏、
(株)藤井組西部氏

優良工事

平成28年度仮設ヤード造成工事
株式会社 藤井組

【受賞理由】 受注者は、工事着手前の林道上部の法面崩落及び8月の異常降雨による路肩崩落等の突発的事象に対し、速やかに応急対策を行なう等、工期確保と安全確保に努めた。

補強盛土壁工では、独自に改良した壁面ユニット設置金具付き単管支柱を設置し、安全性向上と作業時間短縮に貢献。



架設ヤード造成完成



▲壁面ユニット設置金具付き
単管支柱

また、工事区間内は、工事・地質調査等の作業が輻射しているため、全作業員の安全確保対策として、無線式伸縮計設置等による法面監視体制の強化を旨るとともに、自社による作業中止基準を策定し、全作業員の携帯・パソコンへ自動警報メール送信等を実施した結果、工期内に無事故・無災害で完成させた。

自動警報メール▶



優良委託業務

平成29年度 利賀ダムダムサイト周辺地質調査その1業務
日本工営株式会社 北陸事務所

【受賞理由】 受注者は、高透水性亀裂からの逸水によるコアの乱れを防止しながら高品質なコア採取を実現するとともに、高度な技術的判断力に基づく堅岩領域判定を行い、掘進延長を削減し効率的な業務実施につなげた。

工程管理においても経験豊富な技術者を配置し、その技術を現場で共有しながら作業を効率化することで、作業工程を相当短縮するとともに、無事故で業務を完了した。

さらに、隣接他工事における調査横坑試掘作業に対し、周辺の地質特性を熟知した上で坑口位置の技術的助言を行い作業の安全確保にも大きく貢献した。

4.工事だより — 平成30年度 —

工事だよりは、各現場からの投稿です。

利賀ダム工事用道路ウシクルビ谷橋上部受託工事／株式会社横河ブリッジ

【工期】平成29年9月27日～平成32年1月31日



監理技術者
鈴木 俊広

■工事概要

本工事は、南砺市利賀村長崎地先にて、鋼製橋梁上部工の製作・架設を行う工事です。ウシクルビ谷橋は、ベント併用トラベラークレーン工法で架設する「単純上路式鋼トラス桁橋」であり、昨年より工場製作に着手、本年より橋体輸送・現地施工、部分架設を行います。

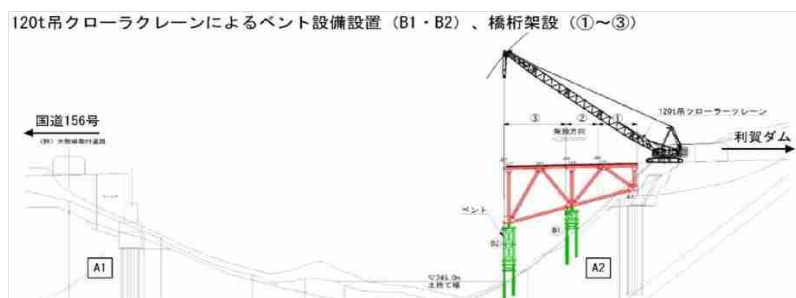
橋長	111.0m
有効幅員	8.5m
橋梁形式	単純上路式鋼トラス橋
鋼重	500.7t
支間長	109.5m
架設工法	ベント併用トラベラークレーン架設及びクローラークレーン架設

■現場の状況

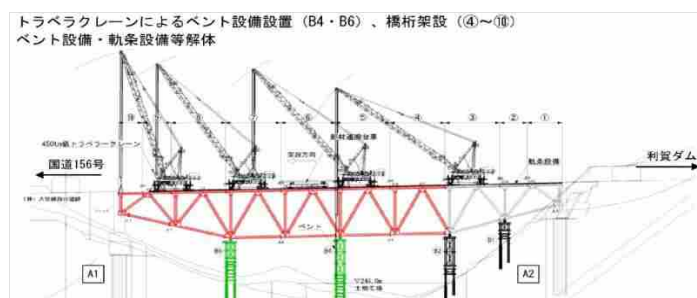
8月下旬より工事用道路の整備・作業ヤードの造成を行う予定です。その後、120tクローラークレーンの組立を行いベント基礎の施工を行います。ベント基礎は杭基礎となり作業場周辺には民宿旅館が多いことから、騒音・振動を低減させるためサイクルハンマー工法を用い杭基礎の施工を行います。

本年はベント設備2基と橋体2ブロックを架け越冬し来年3月よりトラベラークレーンでの施工を行う予定です。

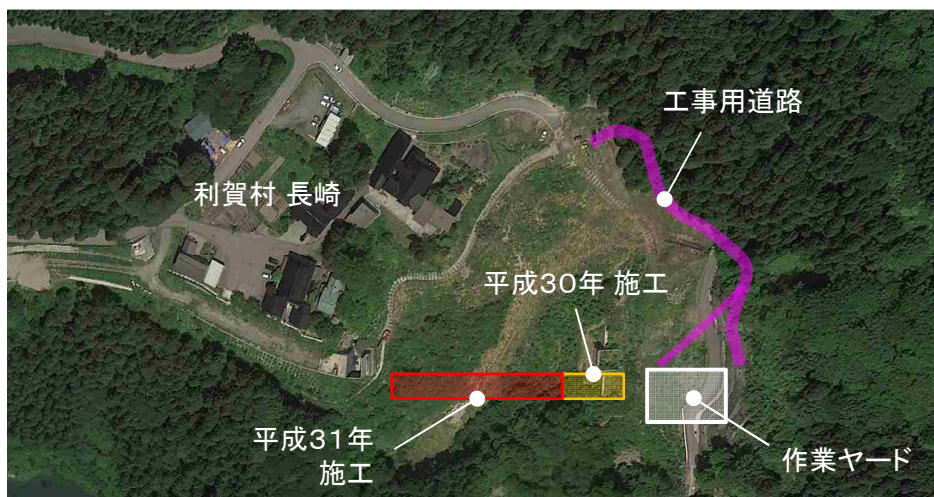
【平成30年9月～12月施工予定】



【平成31年3月～12月施工予定】



■現況写真



■安全対策

近年、建設業界に於いて墜落・転落による死亡災害が多発していることから、同災害を発生させないために高所作業時は安全帯を確実に使用させ2丁掛け活用を徹底し、高所での無胴綱状態をつくらない様、安全管理を徹底します。

■地域貢献

工事施工中は都度、近隣の皆様へお知らせ等を配布し工事に対する理解を深めていただくと共に、地域でのイベント等の行事には参加させていただき協力したいと考えております。

利賀ダム工事用道路1工区取付部他工事／米澤工業株式会社

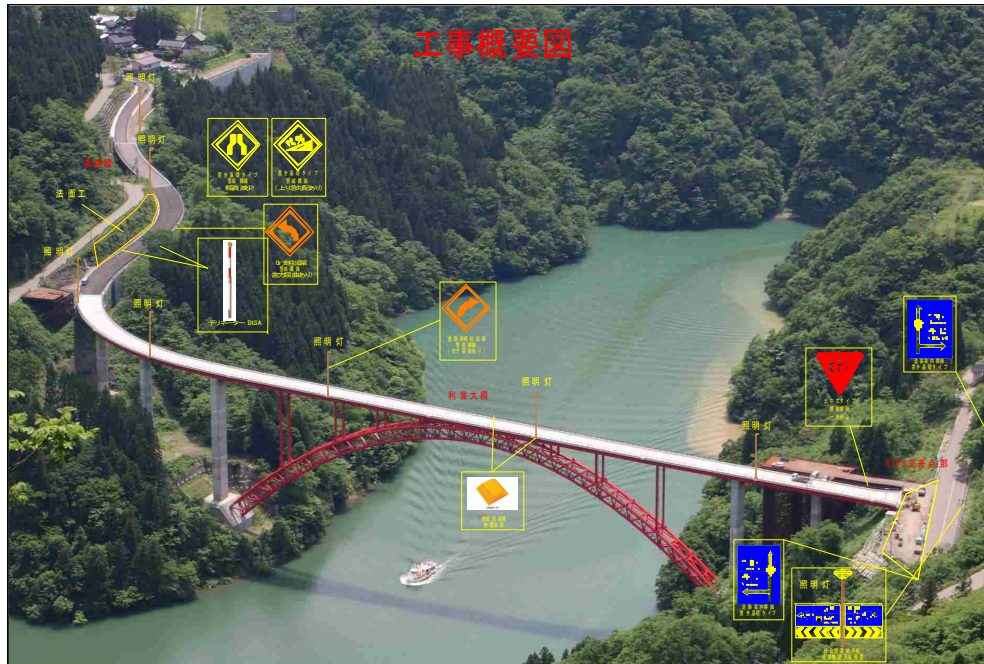
【工期】平成30年5月11日～平成30年11月14日



現場代理人
須河 永喜

■工事概要

本工事は、国道156号交差点部・工事用道路（利賀大橋～長崎橋）約600mの区間の道路開通に伴う道路工事です。



国道156号交差点部	
道路土工	掘削／100m ²
舗装工	アスファルト舗装／250m ²
排水構造物工	側溝工／74m
踏掛版工	踏掛版（A1）／33m ³
標識工	大型標識／3枚
区画線工	溶解式／300m
照明工	照明灯／1基

利賀大橋～長崎橋区間	
標識工	小型標識／4枚
区画線工	ペイント式／1,260m
法面工	モルタル吹付／584m ²
防護柵工	橋梁用高欄／16m
道路附属物工	視線誘導標／26本
照明工	照明灯／7基

■現場の状況

5月下旬に工事を着手し、8月現在、**70%完成**しています。引き続き、10月中旬の開通に向けて施工を進めてまいります。

8月までは、主に156号交差点部を中心に施工を進めました。今後は、利賀大橋から長崎橋間の照明灯・案内標識・スノーポール等の設置、区画線工の施工が主となります。

地域の皆様・関係各所の皆様方には日頃より、大変お世話になっております。引き続き、よろしくお願い致します。

■安全対策

今年は、6月下旬より非常に暑い中での作業が続いております。作業員の健康管理を配慮し、現場休憩所内に、クーラー・冷蔵庫を完備しております。

国道156号沿線での作業のため、バリケード・フェンス・カラーコーンによる作業区画を重視し、第三者災害の防止に努めています。安全打合せ・教育を通して、日々の安全作業に対する意識の徹底を行っています。

■地域貢献

施工箇所の市道大牧線等の維持管理として除草作業等のお手伝いをさせて頂きました。

利賀地域の各種イベント（6月のしんりよく祭り・9月利賀サマーフェス・10月利賀の山祭り等）に参加協力します。

平成30年度利賀ダム工事用道路他維持修繕工事／中山工業株式会社

【工期】平成30年4月11日～平成31年3月31日



現場代理人
横倉 健二

■工事概要

道路維持	道路土工・舗装工・標識工・除草工・雑工・仮設工 (モノレール・管理用通路)
雪 寒	除雪工
道路改良	路肩崩落部処理工・対策工1

■現場の状況

7月上旬から、ダムサイト左岸で林道仙野原線の道路改良2件を施工しています。急峻な山腹直下で、降雨のたびに土石の流出が有り厳しい現場ですが、無事故で完了させる為、安全管理に努めています。

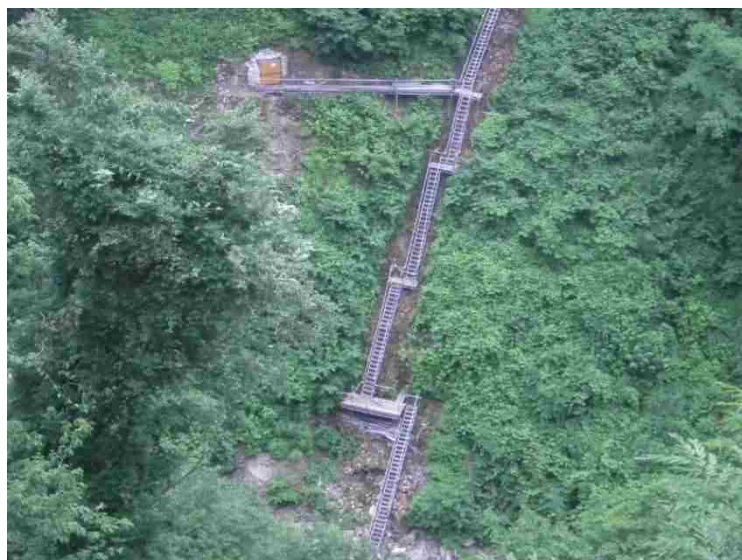
維持工事は、利賀ダム工事事務所管内一円を施工範囲として5月より随時各所で作業を行い49%程(8月20日現在)終わりました。各所に於けるご理解・ご協力ありがとうございます。

■現況写真

▼林道仙野原線～鋼製L型擁壁施行状況



▼ダムサイト右岸～管理用通路設置工



■安全対策

急斜面・高所作業では、保護具の着用、上下作業の回避、親綱の設置、点検、手元・足元注意の徹底を図り、無災害で進めています。

冬期は、除雪作業時の安全対策として監視員が同行致しますので、誘導及び指示にご理解・ご協力をお願い致します。

■地域貢献

今年の8月に長崎地区でイベントの裏方として参加しました。昨年同様、会場で皆様が笑顔で紙飛行機やパズルを楽しむ様子を拝見し、意義を感じました。冬の利賀そば祭りでは、なお一層の力を込めて会場設営に参加予定です。

利賀ダム庄川橋梁上部工事／MMB・宮地特定建設工事共同企業体

【工期】平成26年12月12日～平成30年12月20日(完成日:平成30年8月3日)



監理技術者
西村 匡介

■工事概要

南砺市利賀村栃原～長崎地先において庄川を渡河する橋梁の架設工事です。

橋長	368.0m
橋梁形式	鋼上路式アーチ橋(補剛桁:連続箱桁橋)
鋼重	1,892.5t
支間長	27.2m+28.0m+205.0m(アーチ部190.0m)+36.0m+36.0m+34.2m109.5m
架設工法	ケーブルエレクション斜吊り工法(アーチ部)
床版	合成床版
その他	工場製作工、橋台工、RC橋脚工、橋梁附属物工、舗装工

■工事完了の挨拶

平成27年にA1～P2補剛桁の架設、ケーブルクレーン設備の設置、平成28年にP2～P3アーチ部架設、補剛桁架設、ケーブルクレーン設備の解体、平成29年にP3～A2補剛桁架設、合成床版・地覆工を施工、本年度に橋面防水、アスファルト舗装工を施工し、現地工事を完了しました。

近隣住民、関係者の皆様のご協力とご理解、ご指導ご鞭撻のおかげにより、平成30年8月3日に無事竣工することが出来ました。平成27年4月より平成30年7月までの長い間、本当にありがとうございました。

今後、「利賀大橋」として、南砺市(旧利賀村)、利賀ダムへの入口及び、庄川遊覧船よりの観光名所の一つとして、皆様に愛される橋となることを心より祈ります。

■現況写真



■地域貢献

4月は、口山地区の道路愛護に参加し、市道大牧線の道路清掃を行いました。また、地域の春季大祭に招かれ神社に拝礼し、工事の安全、地域の発展を祈願しました。

6月には、草刈り清掃に参加し、地域の皆様と交流を図る事が出来ました。

又、地域の皆様に工事の予定表を毎月配布し、御理解と御協力により無事工事完了することが出来ました。ありがとうございました。

利賀ダム豆谷橋梁上部その2工事／川田工業株式会社

【工期】平成26年12月23日～平成30年7月31日(完成日:平成30年7月30日)



監理技術者
仲谷 洋

■工事概要

本工事は、南砺市利賀村大豆谷地内において、鋼製橋梁の上部工事を施工しました。

豆谷橋梁は、補剛桁については送出し工法、アーチ部材についてはトラベラークレーン架設（一部斜吊工法）にて施工した鋼中路式ローゼアーチ橋です。

橋長	259.0m
有効幅員	8.5m
アーチスパン	210.0m

■工事完了の挨拶

本工事につきましては、平成29年12月に全ての現場作業を終了し、今年度の平成30年7月30日に完成検査を実施いたしました。

平成27年5月からの現場工事着手より約4年もの長期に渡り、近隣の皆様の工事への御理解をいただきながら、無事完成へと漕ぎ着けましたこと、この誌面をお借りしましてお礼申し上げます。

振り返りますと、クマの出没やスズメバチの巣の駆除、あるいはいつ降り出すかわからない雪に対する工程管理など、自然との対峙の中での工事であったと強く印象を受けた現場でありました。

最後に、様々な困難な状況に際しまして、御指導御鞭撻いただきました、利賀ダム工事事務所の方々におかれましても、重ねてお礼申し上げます。

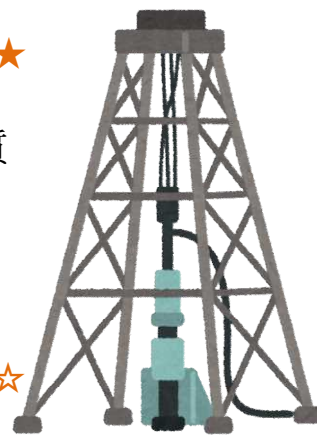
平成30年5月8日
橋の名前が**豆谷大橋**に
決定！！



☆☆☆☆地質調査業務の紹介☆☆☆☆☆☆☆☆

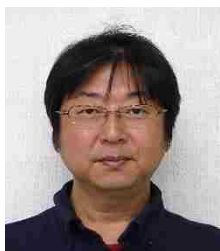
利賀ダム工事事務所では、利賀ダム建設に必要となる地質調査を実施しています。

今年度は利賀地区とダムサイト周辺で地質調査を実施しております。



平成30年度利賀ダム貯水池法面地質調査その1業務／日本工営株式会社

【工期】平成30年5月9日～平成30年10月31日



管理技術者
山田 和生

現場は、利賀村中心部の利賀河合線山側擁壁背後の南砺市所有地です。周辺民家への騒音対策として、ボーリング足場周りに防音シートを設置しました。また、台風接近に対して、資機材の道路への飛散・落下がないように、十分な養生を行っています。

平成30年度利賀ダム貯水池法面地質調査その2業務／日本工営株式会社

【工期】平成30年5月10日～平成30年10月31日



管理技術者
野村 誠紀

現場は利賀村中心部の興真寺に隣接する南砺市所有地であり、周辺民家への騒音対策としてボーリング足場周りに防音シートを設置しました。また熱中症対策の一つとして、現場作業員にファン付き作業服を着用してもらい作業等を行っています。

平成30年度利賀ダム貯水池法面地質調査その3業務／株式会社村尾地研

【工期】平成30年5月11日～平成30年10月31日



管理技術者
野坂 徹

ございしよの下部斜面で、調査ボーリング（70m）を行う業務です。ございしよの広場からモノレールで資機材を運搬し、作業員等の通勤には安全通路を設置しました。ボーリング作業では、当社安全管理責任者が現地パトロールを行い、指導しました。

平成30年度利賀ダムダムサイト地質調査業務／基礎地盤コンサルタンツ株式会社

【工期】平成30年7月12日～平成30年11月20日



管理技術者
祐徳 信武

利賀ダム展望台下方の右岸側斜面でボーリング調査を行う予定です。現在は、資機材運搬用のモノレールを架設しています。現地は、植生が発達し、浮石などが点在するため、スズメ蜂や熊などの野生動物に注意し、落石対策などを行っています。

平成30年度利賀ダムダムサイト地質調査その2業務／株式会社村尾地研

【工期】平成30年8月31日～平成31年1月18日



管理技術者
野坂 徹

利賀ダム展望広場の下部斜面で、調査ボーリング（30mと40m）を行う業務です。広場上流側からモノレールを設置して、資機材運搬と通勤に使用します。急斜面であり、十分な安全対策が必要になります。



安全パトロール実施状況

(平成30年度利賀ダム貯水池法面地質調査その3業務)



モノレール架設状況

(平成30年度利賀ダムダムサイト地質調査業務)



地域の皆様へ作業着手前に作業概要等のお知らせを配布させていただきました。引き続き調査地周辺への騒音等の影響に配慮しながら、安全に作業を行ってまいりますので、ご理解ご協力をお願いします。



利賀ダム見学イベントを開催



地域の皆様と開通前の利賀大橋を体感し、ダムカレーも作りました

8月4日（土）に、利賀ダム連絡協議会、利賀ダム建設口山地区対策協議会、利賀地域児童生徒育成会の主催で、「利賀ダム見学イベント2018～五感で味わう、利賀ダムの魅力～」が開催されました。安全対策協議会も南砺市（利賀行政センター）、富山県砺波土木センター、利賀ダム工事事務所の皆さまと協働して、開催準備や当日の運営のお手伝いをさせていただきました。当日は、児童生徒19名を含む地元の方々85名の方にご参加頂きました。

まず、利賀大橋の上で開通前の橋からの眺望を堪能しながら、青空に向けて紙飛行機を飛ばしました。（※紙は、自然に分解する紙を使用しています）

1 利賀大橋から紙飛行機とばし



うまく作れるかな・・・？



で～きたっ♪



飛んでけ～！



2

巨大パズルを完成させよう (砺波土木センターが事前準備や運営を担当)

育成会の子供たちが巨大パズルに挑戦しました。パズル完成後はドローンを使って参加者全員で記念撮影を行いました。



完成！



3

利賀ダムカレーをつくろう (利賀行政センターが事前準備や運営を担当)

利賀大橋を渡って、おなかがすいたところで、育成会の皆さんでダムカレーづくりにチャレンジ。A～Eの5グループに分かれて、思い思いのトッピングでオリジナルのダムカレーをつくってもらいました。

各グループの代表ダムカレーを選んで記念撮影した後は、みんなで一緒に会食。なんと、ダムカレー会場にサプライズ！民宿「茂平」様から鮎の塩焼きのプレゼントがありました。(茂平様、ありがとうございました。)



各グループ自慢のダムカレー

Aグループ

鮎の 利賀ダム登り



Bグループ

魚泳ぐ夏のダム



Cグループ

将来の 利賀ダムカレー



Dグループ

小牧ダムカレー



Eグループ

魚ダムカレー



4 遊覧船から利賀大橋を学ぼう

最後は、庄川遊覧船による利賀大橋見学です。

2隻の遊覧船に分かれて、庄川に架かる利賀大橋を見て頂きました。

船内では、利賀ダム事業や利賀大橋の説明に熱心に耳を傾けて頂き、最後は大きな拍手をいただきました。



いざ出発！



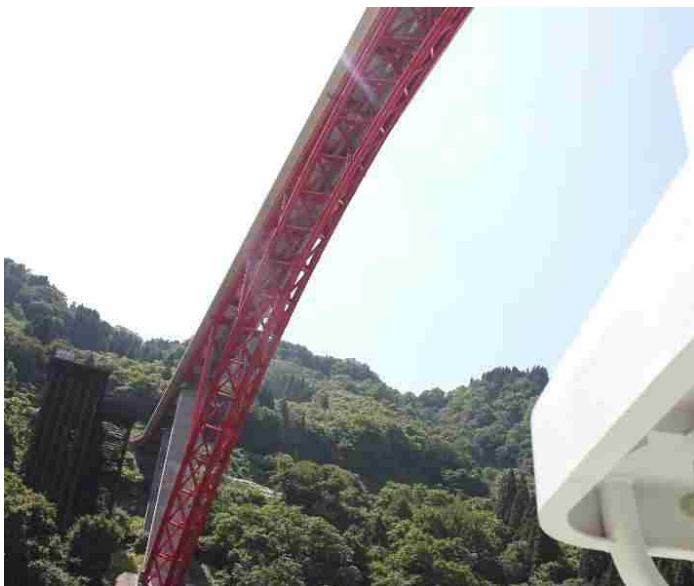
風がきもちいい！



いい眺めだなあ



お〜い！（見えてる？）



橋の裏側はこんな風になってるんだ！



当日は、猛暑の中、皆さん元気に参加して頂き誠にありがとうございます。今回の見学会を期に、利賀ダム建設事業へのご理解が深まれば幸いです。

大学生が利賀大橋で「反転授業」を体験 ▶▶▶

将来の担い手となる大学生が利賀大橋を見て・ふれて感動体験

6月22日（金）金沢工業大学環境土木工学科の学生106名は、国土交通省北陸地方整備局と協力して、利賀ダム工事事務所の工事現場において「反転授業」を行いました。

「反転授業」とは、従来教室で行われていた「知識伝授」の要素をビデオ化し、自宅で学習し、従来自宅で宿題を通して行われていた「知識の咀嚼」の要素を教室で行う教育形態です。

まず、大学講堂にて、北陸地方整備局の事業について説明を行いました。

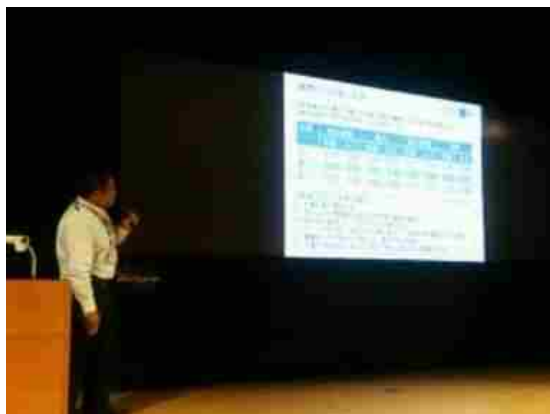
学習 課題

- ・ダムの役割（目的）は何か。
- ・ダム以外の方法でその目的を達成するにはどのような方法が考えられるか
- ・ダム事業なのに道路を作るのはなぜか
- ・工事施工がないときの工事現場保全の留意事項



北陸地方整備局事業の説明

金沢工業大学講堂(参加者:106名)



講義の後、A・Bの2コースに分かれ、Aコースの49名は、利賀ダム／庄川橋梁上部工事などの現場を見学しました。学生の皆さんは、職員や工事責任者からの説明を熱心に聞いていました。

見学
場所

南砺市利賀村栃原
(利賀大橋ほか)

見学
内容

・鋼上路式アーチ橋



見学会【Aコース】 利賀大橋ほか(参加者: 49名)



▲利賀ダム職員による橋梁工事の説明



▲工事責任者からは橋梁工事で苦労した点や工夫した点など説明



▲みんなで記念撮影

■ 反転授業後の意見・感想

- ・教科書と現場はやはり違う。構造物の大きさを肌で感じる事ができた。
- ・橋の設計など、初めて見て学べたので良かった。橋の形にもこだわっていて、やりがいを感じながら仕事をするのは良いことだと思った。
- ・社会に出る前に現場見学というかたちで仕事内容を知ることができたことと、完成した橋を渡らせて頂き、完成したときの喜びや楽しさを知ることができました。私は施工・設計に携わっていなかったのに、そういった感情を得ることができたので、携わった方々はより大きい感情を得たと思います。良い感情を得たことと、仕事内容を知ることができたのが満足の理由です。

6.あとかき

「利賀の水音」は、今回31回目の発刊となり、2000年の発刊から18年目に入りました。

8月4日の利賀ダム見学イベント前に利賀大橋のこれまでの工事について調べたところ、平成15年に着手し、ようやく本年度完成していることから、約15年の歳月がかかった事が分かりました。利賀大橋を完成させるためには、地域の皆様はもとより、関係機関や工事関係者など数多くの人々の理解と協力がいかに大切であるかという事を改めて認識しました。

また、利賀ダム見学イベントとして、遊覧船による利賀大橋見学時には、現在の国道471号が非常に険しい断崖の中にあることが、よく分かりました。利賀地区協議会の方からは「こんなところを通っているのか」「早く新しいバイパスがつながるといいね」と話されていたことが印象的でした。

これからも地域の皆様とともに、安全第一で利賀ダム事業を進めて参りたいと思いますので、今後とも宜しくお願いいたします。



▼ 利賀の水音について、お気づきの点等は、下記までご連絡下さい。

利賀ダム工事事務所安全対策協議会

■ 事務局:利賀ダム工事事務所 工事課

〒939-1363 富山県砺波市太郎丸1-5-10

【TEL】0763-33-4799 / 【FAX】0763-33-0271 / 【e-mail】toga@hrr.mlit.go.jp

■ ございしょ利賀(監督員詰所)

〒939-2507 富山県南砺市利賀村201

◆ 利賀ダム工事事務所ホームページにて工事の進捗状況を発信中です ◆

【URL】<http://www.hrr.mlit.go.jp/toga/index.html>

引き続き地域の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。